

第5回 CVP フォーラム研究集会

～ CVP が BPH 標準治療となるための Pitfall & Tips ～

Pitfalls & Tips for CVP to become the standard treatment for BPH



日程

2023年10月28日（土） 15:00～18:10

会場

大手町ファーストスクエアカンファレンス 「RoomA」
東京都千代田区大手町 1-5-1

会長

河野 義之
江戸川病院
〒133-0052 東京都江戸川区東小岩 2-24-18

ご挨拶



第5回 CVP フォーラム研究集会
大会長 河野 義之
江戸川病院 BPHセンター長

このたび、第5回 CVP フォーラム研究集会の大会長を拝命し、2023年10月28日（土）に大手町ファーストスクエアカンファレンスにて現地開催させて頂くことになりました。手術に専念してきた私にとりましては、本研究集会を開催させていただくことは大変な名誉であると受けとめております。全国から CVP の手術手技に拘りを持たれている先生方のご参加いただき、活発な議論を目の当たりにできると思うと、高揚感を感じずにはいられません。

開催テーマですが、『CVP が BPH 標準治療となるための Pitfall & Tips』とさせて頂きました。CVP は 2016 年から本邦で行われるようになり、今年で 8 年目を迎えます。現在、CVP の導入施設は約 90 施設となり、100 施設突破に向けてマジックが点灯している状況です。CVP の実施数が増加しているにもかかわらず、CVP を行う上で陥りやすい Pitfall やその解決方法についての議論は、これまでにあまりされていなかったように思います。

前立腺肥大症に対する標準治療を目指すために、今年の研究集会で熱い議論を交わしていただき、CVP の Pitfall と解決方法を明確にすべきと考えております。そうすることで、CVP は標準治療となるためのスタート地点につけると考えております。会場である大手町ファーストスクエアカンファレンスのある大手町は、箱根駅伝のスタート地点でもあります。標準治療という「天下の陥」を目指すには格好の場所であると思い、この会場を選びました。

今年は、日本全国が熱狂した WBC に始まり、8月にはバスケットボールのワールドカップが、そして9月にはラグビーのワールドカップが行われるイベント目白押しの年であり、その興奮冷めやらぬまま、10月28日（土）に本研究集会を行いますので、参加される先生方には熱い議論をして頂き、研究集会終了後には、ノーサイドの精神に則り、親睦を深めていただくような会合を企画しております。

COVID19 の再燃に阻まれることなく、対面での積極的な議論をしていただけることを切に願っております。本研究会を有意義で実りあるものにすべく鋭意努力して参りますので、皆様のご参加を心よりお待ち申し上げております。

会場案内

大手町ファーストスクエアカンファレンス 「RoomA」

【住 所】 東京都千代田区大手町 1-5-1 ファーストスクエア イーストタワー 2階

【交 通】 ■ JR 東京駅

・丸の内北口 徒歩 4 分

■ 大手町駅

・東京メトロ [千代田線 / 東西線 / 丸の内線 / 半蔵門線]

C12 出口 徒歩 1 分

※ご注意…当日は「C8」「C11」出口は閉鎖しております（土曜日閉鎖）

「C12」出口から一度地上に出て、1F エントランスまでお越しください

【大手町ファーストスクエアカンファレンス】アクセスマップ



JRご利用の方

「東京駅」丸の内北口から徒歩4分



地下鉄ご利用の方

東京メトロ 千代田線/東西線/半蔵門線/丸ノ内線
都営地下鉄 三田線

「大手町駅」 C8 C11 C12 出口から直結



参加者の皆様へ

1. 日時及び会場

日時：2023年10月28日（土） 15:00～18:10

会場：大手町ファーストスクエアカンファレンス 「RoomA」

2. 参加登録

登録方法：オンライン参加登録

支払方法：ネット決済（PayPal、クレジットカード、デビットカードのみ）

会費：会員 3,000円

非会員 7,000円

新規入会+参加費 5,000円

※CVP フォーラムのホームページより参加登録・お支払いください

※CVP フォーラムへご入会される場合は、会員参加費でご参加いただけます

※CVP フォーラムの「新規会員登録」もホームページにて承っております

3. 参加方法（現地）

受付日時：2023年10月28日 14:45～

会場：大手町ファーストスクエアカンファレンス RoomA 会場前
(ファーストスクエア イーストタワー 2階)

※プログラム・抄録集は、CVP フォーラムのホームページからダウンロード可能です

4. 参加方法（アーカイブ配信）

視聴方法：登録メールアドレス宛に、アーカイブ視聴用 URL をお送ります

※Live 配信ではございません。

※現地開催を撮影した映像を後日ホームページにて公開いたします。

※視聴の際にはパスコードが必要となります（参加登録者へメール案内）

※プログラム・抄録集は、CVP フォーラムのホームページからダウンロード可能です

5. 世話人会

日時：2023年10月28日（土） 13:30～14:30

会場：大手町ファーストスクエアカンファレンス 2階 会議室 「Meeting Room」

＜主催事務局＞

慶應義塾大学医学部 泌尿器科学教室

〒160-8582 東京都新宿区信濃町35 TEL: 03-5363-3825

演者の皆様へ

【口演発表についての注意】

- 1) 発表時間、討論時間を厳守してください。
- 2) 発表はすべてパソコンを使用したプレゼンテーション（一面投影）です。
- 3) 発表時間
一般演題 発表 7 分、質疑応答 3 分
- 4) 発表の 15 分前までに会場の前方にご着席ください。
(次演者札の準備はございません。)

【PC 発表についての注意】

1) PC 受付

会場下手の PC オペレーター席へ直接データをお持ち込みください。

日程： 10 月 28 日（土）

時間： 14:00 ~ 14:45

場所： 大手町ファーストスクエアカンファレンス 2 階「RoomA」受付

- ・研究集会が始まる 15 分前までに、会場下手の PC オペレーター席にて試写をお済ませください。
- ・PC オペレーター席ではデータの修正をお受けできません。レイアウトの修正のみとし、データの修正等は事前に済ませてから会場へお越しください。
- ・発表データのファイル名は、【施設名・氏名】としてください。
- ・PowerPoint の「発表者ツール」機能は使用できません。
- ・ご発表データは会場のパソコンに一時保存いたしますが、これらのデータは研究集会終了後、責任を持って消去いたします。
- ・事務局にてご用意しております PC (Windows) には PowerPoint2010・2013・2016・2019 をインストールしております。同環境にて正常に作動するデータをご用意ください。
- ・動画データは、Windows Media Player 初期状態にて再生される動画ファイルを推奨します。（WMV 形式を推奨いたします）
動画形式によっては PowerPoint 上で再生されないものもございますので事前確認をお願いします。
- ・静止画像は JPEG 形式で作成されることをお勧めします。
- ・文字ずれの原因となりますので特殊なフォントの使用は避け、標準フォントをお使いください。
- ・画面の解像度は、XGA (1024 × 768) でお願いします。

2) メディアの持込

- ・メディアでの受付は、Windows で制作されたデータのみとなります。
 - ・お持ちいただけるメディアは、CD-R、USB フラッシュメモリーのみです。
 - ・メディアはウイルス定義データを最新のものに更新させられたセキュリティソフトを使用しウイルスに完成していないことを必ず確認したうえでお持ち込みください。
- 3) 以下の場合についてはご自身のPCをお持ち込みください。
- ・動画を多用される場合 (PCを持参しない場合は動画形式を必ずご確認ください。)
 - ・Macintosh を使用される場合
- 4) PC持込時の注意事項
- ・発表データのファイル名は、【施設名・氏名】としてください。
 - ・発表データのショートカットは、デスクトップ上に置いてください。
 - ・会場下手のPCオペレーター席にてデータの確認を行い、オペレータにお渡し頂き、研究集会終了後ご自身でお引き取りをお願いいたします。
 - ・会場での接続端子は、HDMI タイプです。PCの外部モニター出力端子の形状をご確認ください。変換アダプターが必要な場合はご持参ください。



- ・接続トラブルなどの場合に備え、バックアップデータを必ずお持ちください。
- ・動画の参照ファイルがある場合は、全てのデータを同じフォルダに入れてください。
- ・動画データがある場合、事前に動画が外部出力されることをご確認ください。
- ・電源ACアダプターは必ずご持参ください。
- ・メディアを介したウイルス感染の事例がありますので、最新のウイルス駆除ソフトでチェックしてください。

第5回 CVP フォーラム研究集会 プログラム

～ CVP が BPH 標準治療となるための Pitfall & Tips ～

Pitfalls & Tips for CVP to become the standard treatment for BPH

●開会の挨拶

15:00～15:05

大会長 河野 義之 (江戸川病院)

●会員総会

15:05～15:15

代表世話人 大家 基嗣 (慶應義塾大学)

●一般演題 (6 演題) *発表 6 分 質疑応答 3 分

15:15～16:10

座長：岡田 真介 (行徳総合病院)

1. 当院における CVP の初期経験と周術期合併症について

- 藏野 吉隆 1、清水 信貴 2、伊賀 亮平 1、吉村 理愛 1、安宅 香弥 1、石黒 基純 1、
山本 新九郎 1、刑部 博人 1、波越 朋也 1、島本 力 1、福原 秀雄 1、深田 聰 1、
田村 賢司 1、蘆田 真吾 1、辛島 尚 1、井上 啓史 1, 2

1 高知大学医学部附属病院泌尿器科学講座 2 高知大学医学部付属病院骨盤機能センター

2. 接触型レーザー前立腺蒸散術の経時的な成績の推移について

- 大岡 均至 (神戸医療センター)

3. CVP 術後短期間ビベクロン使用症例の臨床的検討

- 山道 深、桂 大希、田中 直人、堀越 幹人、藤田 雅一郎、井上 貴昭、
原 章二 (原泌尿器科病院)

4. CVP 術後に再手術を要した症例の検討

- 作田 剛規、黒沢 瞭、豊田 裕、丸 晋太朗、小柳 知彦、
松村 欣也 (仁榆会札幌病院)

5. UroLift® 効果不良症例に対する CVP 療法について

- 大岡 均至 (神戸医療センター)

6. 当院における尿道狭窄症を合併した前立腺肥大症手術 (尿道バルーン拡張術 +CVP 一期的施行) 5 例の検討

- 松本 太郎 (南大和病院)

●シンポジウム

16:10～17:10

テーマ：CVP術後合併症に関する Pitfall & Tips

座長：高橋 悟（日本大学）

シンポジスト：加藤 忍（かとう腎・泌尿器科クリニック）「膀胱頸部硬化症」

狩野 武洋（熊本泌尿器科病院）「尿失禁」

鶴 信雄（鶴泌尿器科クリニック）「後出血」

宮内 聰秀（大分泌尿器科病院）「術後の結石形成」

野村 博之（福岡山王病院）「一過性尿閉」※会長要望

※一過性尿閉は、術後合併症として多く報告がある為、発表時間を長く設定します

コメンテーター：河野 義之（江戸川病院）

●特別講演 トークセッション

17:10～17:40

テーマ：CVPの標準化に向けての持つべきマインドとは？

座長：大家 基嗣（慶應義塾大学）

スピーカー：川崎 宗則（栃木ゴールデンブレーブス）

●会長講演

17:40～18:00

『CVPの標準化に向けたマルチアングル評価の提案』

座長：駒井 資弘（こまい腎・泌尿器科クリニック）

演者：河野 義之（江戸川病院）

●次期会長挨拶

18:00～18:05

関 成人（九州中央病院）

●閉会の挨拶

18:05～18:10

大家 基嗣（慶應義塾大学）

一般演題 抄録集

1. 当院における CVP の初期経験と周術期合併症について

○藏野 吉隆 1、清水 信貴 2、伊賀 亮平 1、吉村 理愛 1、安宅 香弥 1、石黒 基純 1、
山本 新九郎 1、刑部 博人 1、波越 朋也 1、島本 力 1、福原 秀雄 1、深田 聰 1、
田村 賢司 1、蘆田 真吾 1、辛島 尚 1、井上 啓史 1, 2

1 高知大学医学部附属病院泌尿器科学講座 2 高知大学医学部付属病院骨盤機能センター

高知大学医学部付属病院泌尿器科学講座

接触式レーザー前立腺蒸散術 (Contact laser Vaporization of the Prostate : CVP) は本邦において 2016 年より薬事承認・保険診療となった、前立腺肥大症 (Benign Prostatic Hyperplasia : BPH) に対する外科的治療の選択肢の一つである。高知大学医学部附属病院では 2023 年 3 月より日本の国公立大学病院で初めて CVP を導入し、同年 9 月までの約 7 か月間に 17 例の症例に対して CVP を施行した。17 例の内 Twister 型ファイバーを用いた症例は 13 例、XCAVATOR 型ファイバーを用いた症例は 4 例であった。Twister 型ファイバーを用いた症例の平均年齢は 65.2 歳 (70-90)、平均前立腺体積は 43.6ml (27-88)、平均レーザー照射時間は 2629.9 秒 (795-4800) であった。XCAVATOR 型ファイバーを用いた症例については平均年齢 76.2 歳 (76-77)、平均前立腺体積は 116.7ml (82-152)、平均レーザー照射時間は 2755.7 秒 (2223-4140) であった。17 例全体の平均年齢は 76.9 歳 (70-90)、平均前立腺体積は 68.93ml (27-152)、平均レーザー照射時間は 3325.48 秒 (795-4140) であった。抗血栓薬投与継続症例は 1 例であった。周術期合併症として偽尿道を 1 例 (5%)、術後早期の敗血症を 2 例 (12%)、精巣上体炎を 2 例 (12%)、一過性尿閉を 3 例 (18%) に認めた。手術前後での Hb 値に差はほとんど認めなかった。当科における CVP の初期経験と周術期合併症の予防に向けた取り組みについて若干の文献的考察を加えて報告する。また比較的多かった一過性尿閉の合併症において、アドバイスを頂ければ幸いである。

2. 接触型レーザー前立腺蒸散術の経時的な成績の推移について

○大岡 均至

独立行政法人 国立病院機構 神戸医療センター

【目的】2022年7月より当科において接触型レーザー前立腺蒸散術（以下CVP）を施行した症例の経時的な治療成績の推移につき検討した。

【対象】前立腺肥大症の診断下、CVP治療適応と判断された10例（治療開始時の5例、2023年2月に施術した5例）。検討項目は、年齢、前立腺容積、前立腺部尿道長、dutasteride投与期間、手術時間、照射エネルギー、照射時間、治療前後のHb, Na, T, PSA, IPSS, IPSS-QOL, OABSS, 尿流量測定値、AMSスコア、残尿量、Global Response Assessment（1；非常に良くなつた～7；非常に悪くなつた）で上記2群間に統計学的相違が認められるか否かを検討した。

【結果】10例の平均年齢77.5歳、平均前立腺体積56.7ml、平均手術時間59.0分、照射エネルギー21.0万J、照射時間2163.6秒であった。CVP開始時と開始後7カ月時における比較検討項目で有意差を認めたのは、レーザー照射時間：3124.90→1202.36秒（p=0.008, unpaired t-test）、AMS性機能因子術前後の推移：0.20→-2.60（p=0.004, unpaired t-test）のみであり、それ以外の評価項目においては有意差を認めなかつた。

【考察】当科でのCVP施行症例数は現在100例を越え、手術手技や臨床効果もある程度安定してきた。今後はよりハイリスクの手術適応症例に対するCVPを増やすべき、と思われる。

3. CVP 術後短期間ビベクロン使用症例の臨床的検討

○山道 深、桂 大希、田中直人、堀越幹人、藤田雅一郎、井上貴昭、原 章二

原泌尿器科病院

【目的】CVP(接触式レーザー前立腺蒸散術)術後、早期に尿道カテーテル抜去可能であるが、その後、蓄尿症状が顕著に表れることが多い。今回我々は、CVP術後ビベグロンを投与した症例の臨床的検討を行った。

【対象と方法】2020年10月から2023年8月までの34ヶ月間で施行した128症例のXCAVATOR ファイバー使用CVP症例のうち、ビベグロン未使用84例とビベグロン使用44例の比較検討をretrospectiveに行った。ビベグロンは、原則尿道カテーテル抜去後1日目で残尿量が100ml以下の症例に投与した。

【結果】術後1ヶ月目のIPSS(蓄尿症状)は術前と比較して有意差は認めなかった。

【結論】今回の研究では、CVP術後早期のビベグロン使用の有用性を示すことができなかった。今後症例数を増やして検討予定である。

4. CVP 術後に再手術を要した症例の検討

○作田 剛規、黒沢 瞭、豊田 裕、丸 晋太朗、小柳 知彦、松村 欣也

仁榆会札幌病院

仁榆会札幌病院では、2018年2月にCVPを開始した。2022年7月にXcavatorを採用し、症例に応じTwisterと使い分けている。2023年9月までの5年8ヶ月間に、469例のCVPを施行した（うちXcavator55例）。再手術を要した症例は、壊死組織増生による排尿障害31例（6.6%）、膀胱頸部硬化症23例（4.9%）、尿道結石6例（1.3%）、尿道狭窄症3例（0.6%）であった（重複あり）。手術時年齢、前立腺体積、手術時間、レーザー出力、レーザー照射時間、照射総エネルギー、TwisterとXcavatorとの差、術者による差、発症までの期間などを検討して報告する。対策については会場のエキスパートの先生方のご意見を賜りたい。

5. UroLift® 効果不良症例に対する CVP 療法について

○大岡 均至

独立行政法人 国立病院機構 神戸医療センター

当科では 2022 年 7 月に CVP1 症例目を行い、2023 年 8 月までに 60 症例に施術し比較的良好な成績を得ている。当科で施行した PUL (UroLift®) 効果不良症例 3 例に対し、CVP (EXCAVATOR) を用いて再手術を行い、全症例安全に施行することが可能であった。手術の際には、無用な出血を避けるためインプラントの抜去等は行わず、前立腺の蒸散を行った。980nm の波長であるダイオードレーザーは PUL インプラント (ステンレス鋼、PET 縫合糸) への照射により大きな問題は生じないことが確認された。動画等を供覧し概説する。

6. 当院における尿道狭窄症を合併した前立腺肥大症手術（尿道バルーン拡張術 + CVP 一期的施行）5 例の検討

○松本 太郎

南大和病院 泌尿器科

当院では 2021 年 7 月より CVP を導入し、2023 年 9 月までに 90 例を施行した。CVP に使用する外筒は 22.5 f r であり、これまでの前立腺肥大症の内視鏡手術に用いる外套の中で最も細い。しかし、術前に施行した膀胱尿道ファイバースコピで、22.5 f r の外套の挿入すら困難と判断せざるを得なかった尿道狭窄症を 5 例認めた。患者背景は年齢 62 ~ 79 (71 : 以降括弧内は中央値) 歳、術前 PSA 2.09 ~ 7.48 (5.87) ng/ml、TV 34.6 ~ 79.8 (43) cc であった。また術前の尿流測定と残尿測定の結果は自排尿量 0 ~ 401 (125) ml、Qmax 0 ~ 15.3 (7) ml/sec、残尿量 18 ~ 2000 (19) ml であった。尚尿閉例は自排尿量を 0 ml、Qmax 0 ml/sec、導尿量を残尿量とした。術前の IPSS 3 ~ 27 (11)、QOL 3 ~ 6 (3)、OABSS 1 ~ 13 (3) であった。狭窄部位は前部尿道 4 例、球部尿道 1 例であった。全例 CVP 施行前に尿道バルーン拡張術 (30 f r 10cm) を施行し、続けて一期的に CVP を施行した。手術時間は 85 ~ 181 (115) min、レーザー照射時間は 893 ~ 3824 (2168) 秒、照射エネルギーは 95 ~ 491 KJ であった。術中に重篤な合併症を認めず、術後に尿路感染を 1 例認めた。術後約 2 週間バルーンカテーテルを留置し、抜去後は尿道ブジーを間隔を徐々に空けながら施行した。IPSS・QOL・OABSS・peak flow・残尿量を術前・術後 3 か月・術後 6 ヶ月・術後 12 か月で追跡が可能な例で評価し、治療効果を検討した。評価可能例に於いて何れも改善傾向を認めた。

シンポジウム

テーマ： CVP 術後合併症に関する Pitfall & Tips

「膀胱頸部硬化症」

「尿失禁」

「後出血」

「術後の結石形成」

「一過性尿閉」 ※会長要望

モデレーター： 高橋 悟（日本大学）

シンポジスト： 加藤 忍（かとう腎・泌尿器科クリニック）

狩野 武洋（熊本泌尿器科病院）

鶴 信雄（鶴泌尿器科クリニック）

宮内 聰秀（大分泌尿器科病院）

野村 博之（福岡山王病院）

コメンテーター： 河野 義之（江戸川病院）

特別トークセッション

CVP の標準化に向けての持つべきマインドとは？

○川崎 宗則

栃木ゴールデンブレーブス

＜川崎選手プロフィール＞

鹿児島県姶良市出身。

鹿児島県立鹿児島工業高等学校から福岡ダイエーホークスへ入団（2000年）。

遊撃手として活躍し、最多安打・盗塁王（2004年）やベストナイン・ゴールデングラブ賞などを獲得。

2006年に開催されたワールド・ベースボール・クラシックでは日本代表に選出され、優勝に大きく貢献。

2012年、活躍の舞台をメジャーに移し、シアトル・マリナーズ、トロント・ブルージェイズ、シカゴ・カブスでプレー。

その後、再び福岡ソフトバンクホークス、味全ドラゴンズ、栃木ゴールデンブレーブスなどでプレーする一方、野球教室や YouTube を通じて野球の楽しさを発信し続けている。

会長講演

CVP の標準化に向けたマルチアングル評価の提案

○河野 義之

江戸川病院

前立腺肥大症 (BPH) の手術は、1970 年代までは開腹による被膜下前立腺腫核出術が標準的な手術方法でしたが、1980 年代以降は経尿道的前立腺切除術 (TUR-P) が広く普及しました。

開腹手術では血の海の中から腺腫がポコポコ取り出されるのが見られるだけで術者が中で何をしているのかわからず、TUR-P も初期は術者が股の間に入り込み直接目を内視鏡を目について覗きながら行う方法でやはり中で何が行われているかわからず『背中を見て覚えろ！』と言われたものでした。

いずれも一部の職人が行うことができるだけの術式で、手術の標準化からはほど遠いところにあったと思います。

そこにカメラヘッドとモニターが誕生し、中で何が行われているかが外からでも分かるようになってからは一気に前立腺肥大症手術も進化を始めました。従来の切除術から発展して核出術、さらにはレーザーの登場によりより精度の高い核出術、蒸散術が行われるようになりました。最近では特殊器具や水蒸気を使用した術式もでてきてています。

いずれも手術の様子を映像で確認・保存でき、技術の習得、向上に役立っています。

ただ、手術のイメージができても、実際に手術器具をどのように持つか、動かすか、角度はどの程度かなどの外の情報は手術指導に来てもらうか、手術見学に行かなければわからないところでした。そんなことをプロクターとして手術指導にあたるなかで悩んでいたところ、縁があって今回スワイプビデオの最新技術と出会うことができました。

スワイプビデオはコンサートやスポーツなどのエンターテイメントの分野で採用されており最新の映像技術です。一つの場面を同時にいろいろな角度から撮影し、見たい視点を視聴者自らが選んで、見たいメンバーや選手の一挙手一投足を好きな視点で自ら楽しむことができる技術です。

この素晴らしい技術をエンターテイメントだけでなく、社会貢献できる技術としてさらに成熟したものにできないか、という熱い相談を受けたのが今回の発想のきっかけでした。

医療分野での活用で様々な医療技術の標準化に役立てることができればその技術の普及につながり、安全で安心な医療を提供することができるようになり、ひいては社会に還元できるのではと考えました。

今回の『CVP が BPH 標準治療となるための Pitfall&Tips』のテーマに沿って、「外からみた CVP」をテーマに撮影をしてみました。是非皆さんでご体験いただき、ディスカッションいただければ幸いです。この取り組みがきっかけでスワイプビデオの最新技術が様々な医療分野での技術の標準化に役立てられ、社会貢献できるような素晴らしい映像技術に育ってもらえればとても光栄です。

接触式レーザー前立腺蒸散術フォーラム 会則

第1章 名称及び事務局

第1条 [名称]

- 1) 本会は接触式レーザー前立腺蒸散術フォーラムと称する。
- 2) 接触式レーザー前立腺蒸散術の英語 Contact Laser Vaporization of the Prostate (CVP) から、略称は CVP フォーラムとする。

第2条 [事務局]

本会の事務局は国内に設置する。

第2章 目的及び事業

第3条 [目的]

本会は CVP の普及と研究の推進に努め、泌尿器科診療の向上に寄与することを目的とする。

第4条 [事業]

本会は第3条の目的を果たすために、以下の活動を行う。

- ① 研究集会を1年に1回以上で行う。
- ② 会員相互および泌尿器科関連学会との連携をはかる。
- ③ その他、CVP の普及と研究に必要な事業を行う。

第3章 会員

第5条 [会員]

本会の会員は次の2種とし、正会員のみが議決権を有する。

正会員：本会の目的に賛同し、本会の活動および事業を推進するために入会した個人。

賛助会員：本会の目的に賛同し、本会を援助するために入会した団体または個人。

第6条 [会費]

会員は、別に定める入会金および会費を納入する義務を有する。

第7条 [入会]

- 1) 本会への入会には、本会の世話人会の承認を要する。
- 2) 承認手続きに時間を要する場合には仮入会を認める。

第8条 [資格喪失]

会員は以下に該当するときに、その資格を喪失する。

- ① 退会届の提出をしたとき
- ② 正当な理由なく会費を滞納し、催告を受けても納入しないとき
- ③ 世話人会の決議により除名されたとき

第9条 [退会]

会員は、退会届を事務局に提出し任意に退会することができる。

第4章 役員

第10条 [役員]

本会に以下の役員を置く。

- ① 代表世話人 1名
- ② 世話人 5～15名
- ③ 監事 1名

第11条 [選任]

- 1) 世話人は、世話人会の推薦により定める。
- 2) 代表世話人は世話人相互による無記名投票により決する。
- 3) 監事は代表世話人が世話人から推薦する。

第12条 [職務]

- 1) 代表世話人は、本会を代表し業務を総理する。
- 2) 世話人は、会則および世話人会の議決に基づき、本会の業務を執行する。
- 3) 監事は、本会の収支および財産の状況を監査する。

第13条 [任期]

役員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

第14条 [退任]

役員を退任する際は、代表世話人にその旨を通知する。

代表世話人が退任する際は、世話人会にその旨を通知する。

役員退任後は、名誉会員として 本会参加 への 資格 を保有する。

第15条 [世話人会]

- 1) 本会の最高決定機関として、世話人会を置く。
- 2) 世話人会は代表世話人・世話人・監事により構成される。
- 3) 世話人会は、委任状を含む過半数の世話人の出席により成立する。

第5章 会計

第16条 [本会の経費]

本会の経費は、年会費・寄付金およびその他の収入を以って充当する。

第17条 [事業年度]

本会の事業年度は1月1日より12月31日までとする。

第18条 [決 算]

本会の決算は、毎事業年度終了後、代表世話人が監事の監査を受けた上で、世話人会の承認を受ける。

第6章 雜則

第19条 [期 間]

- 1) 本会の存続は成立より7年間（2024年末）とする。
- 2) 以後の継続については世話人会の議をもって決する。

第20条 [名誉会員]

名誉会員は本会の年会費および参加費の納入を免除する。

附則

- 1) 本会会則は2018年1月1日より施行する。
- 2) 本会の入会費・年会費は以下の通りとする。
入会費：なし
年会費：①正会員：2,000円
②賛助会員：20,000円（1口）
- 3) 事務局を、慶應義塾大学医学部 泌尿器科学教室に置く。
〒160-8582 東京都新宿区信濃町35 電話番号：03 5363 3825
- 4) 本会の役員を以下に定める（敬称略・世話人は五十音順）。
代表世話人：大家 基嗣（慶應義塾大学医学部）
世話人：井上 啓史（高知大学医学部附属病院）
岡田 真介（行徳総合病院）
加藤 忍（かとう腎・泌尿器科クリニック）
河野 義之（江戸川病院）
駒井 資弘（こまい腎・泌尿器科クリニック）
関 成人（九州中央病院）
鶴 信雄（鶴泌尿器科クリニック）
野村 博之（福岡山王病院）
宮内 聰秀（大分泌尿器科病院）
監事：高橋 悟（日本大学附属板橋病院）

（追記）2023年6月23日改定

接触式レーザー前立腺蒸散術フォーラム 細則

- 1) 入会に仮入会と正式入会を設ける。
- 2) 仮入会は入会申込書と年会費入金を事務局で確認した時とする。
- 3) 正式入会は世話人会の了承（メール審議を含む）が得られた時とする。
- 4) 年会費は1-12月を1年とし1月に当該年の会費請求を行う。
- 5) 会費未納者には、3月頃および学術集会の案内時等に督促を行う。
- 6) 2回目の督促前に退会届のあった場合は、事務局で退会届を受理した時点で退会と扱う（自主退会A）。当該年の会費は免除する。
- 7) 2回目の督促後に退会届のあった場合は、当該年の年会費は納入するものとし、事務局で年会費の支払を確認した時点で退会と扱う（自主退会B）。
- 8) 退会届の有無に拘らず、当該年末日までに会費納入のない場合は、年末日をもって退会と扱う（未納退会）。
- 9) 上記6または7による退会は、世話人会の了承を要しない。
- 10) 未納退会となった者の再入会は、未納年と再入会年の2年分の年会費を支払ったうえで認める。
- 11) 賛助会員の年会費（1口：20,000円）は何口でも可とする。
- 12) 会員連絡には原則としてメールを用いる。
- 13) メールアドレスのない会員は原則として認めない。
- 14) 研究集会の会計は会長一任とし概要を世話人会で報告する。
- 15) 集会での余剰金は事務局会計に寄付してもよい。
- 16) 集会での経費が赤字の場合は事務局が補填することもできる。
- 17) 集会の参加費は正会員と非会員とで区別をつける。
- 18) 上項において賛助会員の団体に属する個人は、正会員に準じて扱う。

2018年1月1日制定

2021年11月20日改訂

CVP フォーラム 会員名簿

会員 85 名、賛助会員 1 社 (2023 年 10 月 18 日現在)

(五十音順)

[代表世話人]	大家 基嗣	慶應義塾大学病院
[世 話 人]	井上 啓史	高知大学医学部付属病院
	岡田 真介	行徳総合病院
	加藤 忍	かとう腎・泌尿器科クリニック
	河野 義之	江戸川病院
	駒井 資弘	こまい腎泌尿器科クリニック
	関 成人	九州中央病院
	鶴 信雄	鶴泌尿器科クリニック
	野村 博之	福岡山王病院
	宮内 聰秀	大泌尿器科病院
[監 事]	高橋 悟	日本大学附属板橋病院
[会 員]	青山 真人	医療法人宝生会 PL 病院
	秋武 正和	福岡赤十字病院
	阿部 立郎	原三信病院
	池田 洋	北九州総合病院
	石川 晃	日本赤十字社医療センター
	石松 隆志	医療法人英山会 平山泌尿器科医院
	乾 秀和	いぬいクリニック
	井上 貴昭	原泌尿器科病院
	牛嶋 壮	近江八幡市立総合医療センター
	内田 欽也	北大阪ほうせんか病院
	梅津 大輔	九州労災病院
	江崎 太佑	練馬総合病院
	大岡 均至	独立行政法人 国立病院機構 神戸医療センター
	岡村 靖久	岡村医院 腎・泌尿器科クリニック
	小川 雄一郎	小林病院
	荻原 雅彦	おぎはら泌尿器と腎のクリニック
	小田代 昌幸	小田代病院
	甲斐 信幸	英山会ひらやまクリニック
	金岡 隆平	たかの橋中央病院
	狩野 武洋	医療法人野尻会 熊本泌尿器科病院
	川野 尚	川野病院
	杵渕 芳明	北信総合病院
	工藤 大輔	八戸平和病院
	熊澤 光明	大曲厚生医療センター
	藏野 吉隆	高知大学医学部
	古賀 祥嗣	江戸川病院
	酒井 伊織	王子クリニック
	作田 剛規	仁榆会病院
	佐藤 健	つくばセントラル病院 総合クリニック
	清水 信貴	高知大学医学部附属病院
	杉原 亨	自治医科大学
	鈴木 理仁	門司掖済会病院
	関戸 哲利	東邦大学医療センター大橋病院
	瀬野 康之	市立三次中央病院
	高田 晋吾	大阪警察病院
	高橋 良輔	総合せき損センター
	田代 孝一郎	吉田病院

立花	貴史	北里大学メディカルセンター
田中	伸之	慶應義塾大学医学部
谷川	史城	医療法人野尻会熊本泌尿器科病院
俵 聰		牛久愛知総合病院
塚田	学	上田腎臓クリニック
恒川	琢司	東光やわらぎ泌尿器科
鶴崎	俊文	日本赤十字社長崎原爆病院
出嶋	卓	九州中央病院
東田	章	守口生野記念病院
友部	光朗	つくばセントラル病院
名嘉	栄勝	西崎病院
中川	徹	帝京大学医学部附属病院
中川	春夫	泉中央病院
長澤	丞志	富山西総合病院
中壽	賀脩	江戸川病院
中園	周作	青梅市立総合病院
永松	弘孝	大分泌尿器科病院
西 一彦		上天草総合病院
西本	紘嗣郎	宮崎大学
野村	照久	医療法人社団すずき会 鈴木・野村泌尿器クリニック
萩原	喜一	江戸川病院
林 瞳雄		たかの橋中央病院
平形	志朗	岡谷市民病院
平山	英雄	医療法人英山会 平山泌尿器科医院
福原	浩	杏林大学医学部
藤村	哲也	自治医科大学
松本	明彦	焼津市立総合病院
松本	太郎	南大和病院
溝口	秀之	相模原赤十字病院
皆川	真吾	医療法人幸真会 皆川クリニック
宮寄	英世	国立国際医療研究センター病院
三山	健	済生会横浜市南部病院
室岡	和樹	九州労災病院
森山	正敏	社会医療法人財団石心会第二川崎幸クリニック
安水	洋太	慶應義塾大学医学部
山田	徹	公立学校共済組合 東海中央病院
山道	深	原泌尿器科病院
山本	新九郎	高知大学医学部
横井	那哉	静岡県立総合病院
横溝	晃	原三信病院
吉岡	巖	堺市立総合医療センター
吉田	直正	吉田病院
吉村	耕治	静岡県立総合病院
渡邊	肇	わたなべ腎・泌尿器科クリニック

[名譽会員]

本間	之夫	杏林大学医学部
松田	公志	関西医科技大学附属病院
山口	秋人	原三信病院

[賛助会員] 株式会社インテグラル

[CVP フォーラム 事務局] 慶應義塾大学医学部 泌尿器科学教室
〒 160-8582 東京都新宿区信濃町 35 TEL : 03-5363-3825

InLay Optima[®] Ureteral Stent

バード[®] インレイオプティマ[®] ステント セット

長期使用尿管用チューブステント

“pHree COAT” Coating

ステント閉塞や尿流を妨げる原因となる尿中カルシウム塩の
ステント表面への付着の軽減を目的として、
独自に考案された pHree COAT コーティングを施しています。

Smooth surface

特殊ポリマー加工によりステント表面を滑らかにしています。

BARD Solo Plus



BARD SOLO ガイドワイヤー (PLUS タイプ) のコアワイヤーは、
ニチノールよりキング耐性が高く、コシの強い TRITON 製です。

TRITON= 剛性の高いニッケル - チタン - コバルト合金

- 事前に必ず添付文書を読み、本製品の使用目的、禁忌・禁止、警告、使用上の注意等を守り、使用方法に従って正しくご使用ください。
- 本製品の添付文書は、独立行政法人医薬品医療機器総合機構 (PMDA) の医薬品医療機器情報提供ホームページでも閲覧できます。
- 製品の仕様・形状等は、改良等の理由により予告なく変更する場合もございますので、あらかじめご了承ください。

販売名：バードインレイオプティマステント セット
承認番号：22100BZY00009000
償還区分：尿管ステント一般II 異物付着防止型

製造販売元
株式会社メディコン
〒541-0046 大阪府大阪市中央区平野町2丁目5-8
カスタマーサービス Medicon-web@bd.com

crbard.jp

BD, the BD Logo and all other trademarks are trademarks of Becton, Dickinson and Company or its affiliates.
© 2022 BD. All rights reserved.
BD-67740





脳下垂体ホルモン剤

葉価基準収載

ミニリンメルトOD錠 50 μ g 25 μ g

MinirinMelt[®] デスモプレシン酢酸塩水和物口腔内崩壊錠

劇薬・処方箋医薬品^(注)

^(注)注意—医師等の処方箋により使用すること

●本剤の効能又は効果、用法及び用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等については、
製品添付文書をご参照ください。

製造販売元

FERRING
PHARMACEUTICALS

フェリング・ファーマ株式会社

〒105-0001 東京都港区虎ノ門二丁目3番17号

〈文献請求先〉 くすり相談室

フリーダイヤル : 0120-093-168 FAX : 03-3596-1107

販売元

キッセイ薬品工業株式会社

松本市芳野19番48号

文献請求先および問い合わせ先

〈文献請求先〉 くすり相談センター

東京都文京区小石川13丁目1番3号 TEL 0120-007-622

〈販売情報提供活動問い合わせ先〉 0120-115-737

U/389TA/10/20/J

MM204MV

2020年10月作成

ミニリンメルト[®]はフェリング・ファーマB.V.の登録商標です
©2020 Ferring Pharmaceuticals Co., Ltd.

まだないくすりを 創るしごと。

世界には、まだ治せない病気があります。

世界には、まだ治せない病気とたたかう人たちがいます。

明日を変える一錠を創る。

アステラスの、しごとです。



明日は変えられる。



アステラス製薬株式会社

www.astellas.com/jp/

Integral

980nm 半導体レーザー手術システム

Contact laser Vaporization of the Prostate

LEONARDO®180

接触式レーザー前立腺蒸散術

視認性

Simple

操作性

止血性

bio
LITEC
biomedical technology

「Simple」を追求した
デバイス設計と手術操作



製造販売元

株式会社インテグラル



東京都品川区上大崎 2-25-2 新目黒東急ビル 11F
TEL : 03-6417-0810 https://www.bphlaser.jp

販売名 : Ceraslas HPD レーザー
医療機器承認番号 : 22800BZX00077000

Memo

Memo

